

株主のみなさまへ



スーパーセシオ
SECIO

第76期事業報告書

蛇の目ミシン工業株式会社

ごあいさつ



株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

また日頃より暖かいご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

ここに第76期（平成13年4月1日から平成14年3月31日まで）の営業の概況をご報告申しあげます。

営業の概況

当期のわが国経済を概観いたしますと、ITバブルの崩壊による影響から個人消費が長期に亘り低迷し、民間設備投資も弱含みで推移いたしました。また、企業の大規模合併や倒産が相次ぎ、失業率の上昇等雇用情勢も一段と悪化するなど厳しい状況を呈しました。

一方、世界に眼を転じますと、米国での同時多発テロ事件の影響による世界同時不況の懸念は遠のいたとはいえ、アルゼンチンの債務不履行、深刻化する中東情勢による原油高や、円安傾向に推移する為替動向等、世界経済情勢の動向から目が離せません。

このような状況下での、当社第76期の営業についてご報告申しあげます。

まず、部門別に営業の経過を、ご報告申しあげます。

<ミシン>

海外ミシン販売につきましては、米国経済の減速化に伴う消費停滞が懸念されましたが、当期の北米向け販売台数は前期比2割増と好調に推移いたしました。これは、コンピュータ内蔵の最高機種の販売に力を入れたことによる販売数量の増加や新機種投入による増量効果に加えて、当社製品が消費者を対象とした雑誌で高評価を受けたことや、テロ事件の反動による巣籠り傾向によりミシンの価値が見直されたことが大きく影響したものと考えられます。また、欧州、中近東地域などでも順調に台数を伸ばしました。

以上の結果、海外販売台数は過去最高の123万台余り（前期比11.6%増）を記録し、海外ミシン部門の売上高は、175億7千9百万円（前期比21億3百万円増）の計上となりました。

国内販売のうち、直営支店販売では、付加価値の高いコンピュータミシンの販売に注力し、販売員一人当たりの営業効率を高めるとともに、効率的な支店店舗の再

配置や支店運営に努めた結果、直営支店の収益性は向上いたしました。

一方、代理店向け販売におきましては、同業他社との競争が熾烈化し、低価格化が進む中で、代理店向けミシンのラインアップを強化するとともに、収益性に重点をおいた営業活動を展開いたしました。

これらの結果、当期の国内ミシン売上高は、112億1千万円（前期比3億8千5百万円減）となりました。

以上、当期における国内外のミシン売上高は、287億9千万円（前期比17億1千7百万円増）の計上となりました。

<24時間風呂>

24時間風呂につきましては、4月に、電気用品安全法で規制される電気用品として認定されたこともあり、当社製品の安全性をご理解いただくべく、積極的な営業・販売促進活動を展開いたしました。

当期は、お求めやすい低価格機種を新発売し、買い換え需要の掘り起こしに的を絞った営業活動を行なうとともに、新たな顧客開拓に注力いたしました。

以上の結果、24時間風呂の販売台数は前期比微増となり、売上高は27億6百万円（前期比1億4千2百万円減）の計上となりました。

<その他>

産業機器分野のうち、ラインアップを充実した卓上ロボットは、高性能・操作の簡便性等が評価され、新規代理店の開拓を積極的に行なった結果、国内外ともに台数・金額は前期を上回りました。

その他の製品につきましても、新規販売ルートの開拓を中心とした拡販活動を展開いたしましたが、設備投資停滞等の影響を受け、売上は低迷いたしました。

以上、産業機器部門、並びにその他国内外の売上高は、81億7千2百万円（前期比14億4千7百万円減）の計上となりました。

<生産・開発>

ミシンの生産・開発につきましては、特にコスト競争力を持った高品質な製品の開発に取り組み、商品ラインアップの強化・拡充のための新機種の生産も順調に推移いたしました。

以上、当社のミシン生産子会社である台湾・ジャノメミシン(株)及びタイ・ジャノメ(株)と、当社東京工場の三工場を合わせた年間生産台数は145万台余りを達成いたしました。

また、山梨工場では、台湾・タイ・東京工場に次いでISO9002認証を取得し、グループをあげて一層の品質管理の強化を図りました。

以上、輸出売上高204億8千4百万円と国内売上高191億8千5百万円とを加えた当期の総売上高は、396億7千万円（前期比1億2千8百万円増）の計上となりました。

営業利益につきましては、収益率の向上を第一に考え、付加価値・収益性ともに高い製品の販売に徹し、加えて販売費・一般管理費の削減（前期比4億5千5百万円減）に努めました結果、当期営業利益は19億4千4百万円（前期比5億6千4百万円増）となり、経常利益につきましても、22億8千9百万円（前期比7億6千8百万円増）の計上となりました。

また、当期利益につきましては、時価会計制度に伴う投資有価証券評価損を特別損失として計上したことなどから、53億2千8百万円（前期比65億3千2百万円減）の損失計上となりました。

なお、株主のみなさまには誠に申し訳なく存じますが、当期の配当金は無配とさせていただきます。

商法・会計制度等の改正や、IT化の急速な進展等、企業を取り巻く環境はめまぐるしく変化しております。また、法令遵守や情報公開、さらには企業の事業継続性の明確化など、経営に対する透明度が要求され、これらに対応するため、企業経営には、的確な状況判断と迅速な決断力・実行力が求められております。

当社といたしましては、このような環境の変化を踏まえ、外部からのさまざまな変化に即応できる力強い企業体質を確立してゆくため、収益性の向上を柱に、当社が世界に誇る営業力・生産技術力・開発力をさらに強固なものにしてまいります。

具体的には、グローバルな視点に立って、国内外の販売力の強化と収益力を重視した企業運営に取り組んでまいります。特に海外では、3月にジャノメ・ヨーロッパ(有)の資本を増強し、社名を「ジャノメオランダ(株)」に改めたことにより、欧州地域での販売力強化を推し進めてまいります。また、本年6月からは、米国大手小売業のシアーズ・ローバック社へ「ジャノメ」ブランドのミシンの供給を開始いたします。

一方、生産部門では、国際的にコスト競争力のある生産体制を確立するため、山梨工場を分社化し、ダイカスト鑄造を主とする生産子会社をタイに設立することになりました。また、部品の共通化、外注先の見直しによるコストダウンを図るとともに、生産ラインの見直し等による生産性向上に取り組んでまいります。

今後とも、安定した収益をあげ得る効率のよい経営体質を構築するため、組織内での意思決定をはじめとした経営のスピードアップを図ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年6月

代表取締役社長

関 浩 一

貸借対照表

(平成14年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	16,957	流動負債	48,325
現金預金	4,806	支払手形	1,502
受取手形	1,655	買掛金	2,924
売掛金	6,616	短期借入金	41,440
有価証券	1	未払金	55
製品及び商品	971	未払法人税等	115
原材料	836	未払消費税等	89
仕掛品	444	未払費用	835
貯蔵品	114	月掛予約前受金	586
前払費用	236	預り金	252
繰延税金資産	288	賞与引当金	421
短期貸付金	735	その他の流動負債	102
その他の流動資産	337	固定負債	8,013
貸倒引当金	△86	再評価に係る繰延税金負債	4,120
固定資産	49,075	退職給付引当金	2,845
有形固定資産	21,276	役員退職慰労引当金	228
建物及び造作物	4,177	未払功労金	632
構築物	84	預り保証金	187
機械装置	404	負債合計	56,339
車輛運搬具	3	(資本の部)	
工具器具及び備品	445	資本金	7,623
土地	16,160	法定準備金	1,694
無形固定資産	569	資本準備金	1,694
借地借家権	458	再評価差額金	5,678
その他の無形固定資産	110	欠損金	5,328
投資等	27,230	当期未処理損失	5,328
投資有価証券	9,172	(うち当期損失)	(5,328)
子会社株式・出資金	2,704	評価差額金	26
長期貸付金	30,049	自己株式	△0
長期売掛債権	147	資本合計	9,693
長期差入保証金	529	負債及び資本合計	66,032
繰延税金資産	5,308		
その他の投資等	485		
貸倒引当金	△21,166		
資産合計	66,032		

(注) 1. 自己株式の表示方法

前期まで資産の部における流動資産の「その他の流動資産」に含めておりました自己株式は、「株式会社」の貸借対照表、損益計算書、営業報告書及び附属明細書に関する規則」の改正により、当期より資本の部の末尾に控除する形で表示しております。

2. 有形固定資産減価償却累計額 11,834百万円

3. 1株当たり当期損失 34円95銭

4. 商法第290条第1項第6号に規定する純資産額 26百万円

損益計算書

(平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)

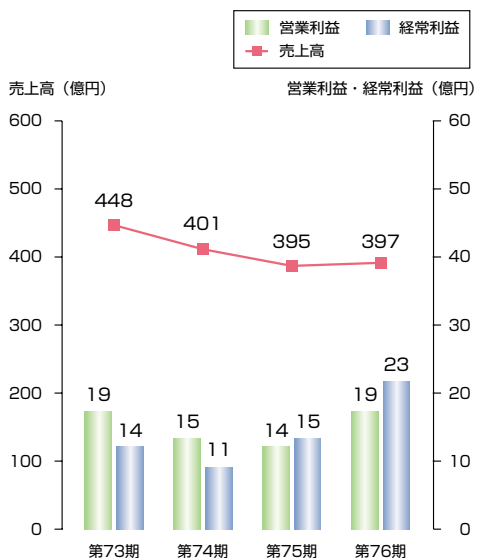
		科 目		金 額	
		百万円	百万円		
経常	営業損益の部	営業収益	39,670		
		営業費用	25,233	12,492	37,725
	営業利益				1,944
	営業外損益の部	営業外収益	25	18	529
受有受為雑		592			1,248
営業外費用		800	102		903
				2,289	
特別損益の部	特別利益	9			9
	特別損失	10,440	877	49	37
	投資有価証券売却益				
税法法人	引税、住民税等				9,106
当期未当	期繰越				159
当期未当	期繰越				△3,938
当期未当	期繰越				5,328
当期未当	期繰越				-
当期未当	期繰越				5,328

損失処理

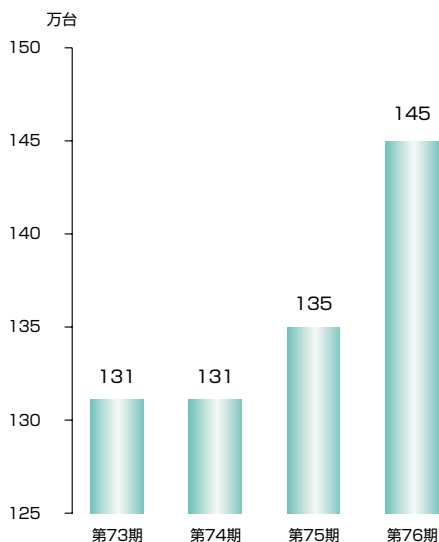
科 目	金 額
当期未処理損失	5,328,524,097 円
これを次の如く処理いたします。	
次期繰越損失	5,328,524,097

単独決算概要

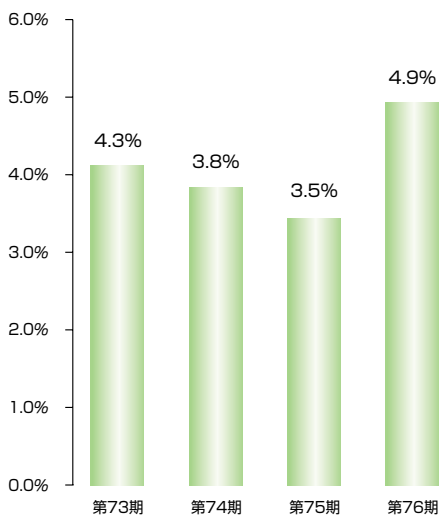
●売上高・営業利益・経常利益



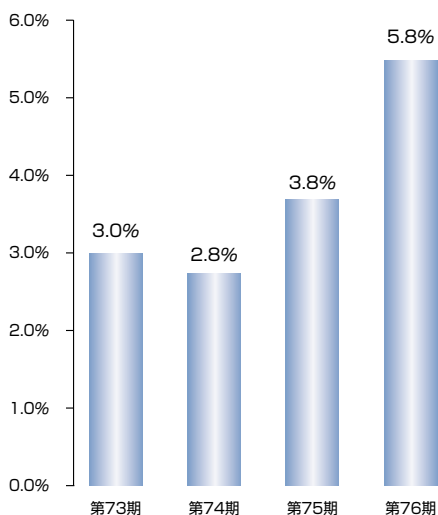
●ミシン販売台数



●売上高営業利益率



●売上高経常利益率



連結貸借対照表

(平成14年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	22,077	流動負債	49,982
現金預金	6,509	支払手形及び買掛金	3,977
受取手形及び売掛金	8,109	短期借入金	41,893
有価証券	1	未払法人税等	434
たな卸資産	6,124	賞与引当金	600
繰延税金資産	732	その他	3,076
その他	832	固定負債	8,936
貸倒引当金	△232	長期借入金	258
固定資産	49,871	退職給付引当金	3,410
有形固定資産	23,868	役員退職慰労引当金	325
建物及び構築物	5,282	再評価に係る繰延税金負債	4,120
機械装置及び運搬具	1,094	その他	822
土地	16,573	負債合計	58,919
建設仮勘定	35	(少数株主持分)	
その他	882	少数株主持分	376
無形固定資産	614	(資本の部)	
投資その他の資産	25,388	資本金	7,623
投資有価証券	9,531	資本準備金	1,694
長期貸付金	30,049	再評価差額金	5,678
繰延税金資産	5,481	欠損金	1,532
その他	1,491	その他有価証券評価差額金	16
貸倒引当金	△21,166	為替換算調整勘定	△824
資産合計	71,949	自己株式	△0
		資本合計	12,654
		負債、少数株主持分及び資本合計	71,949

連結損益計算書 (平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)

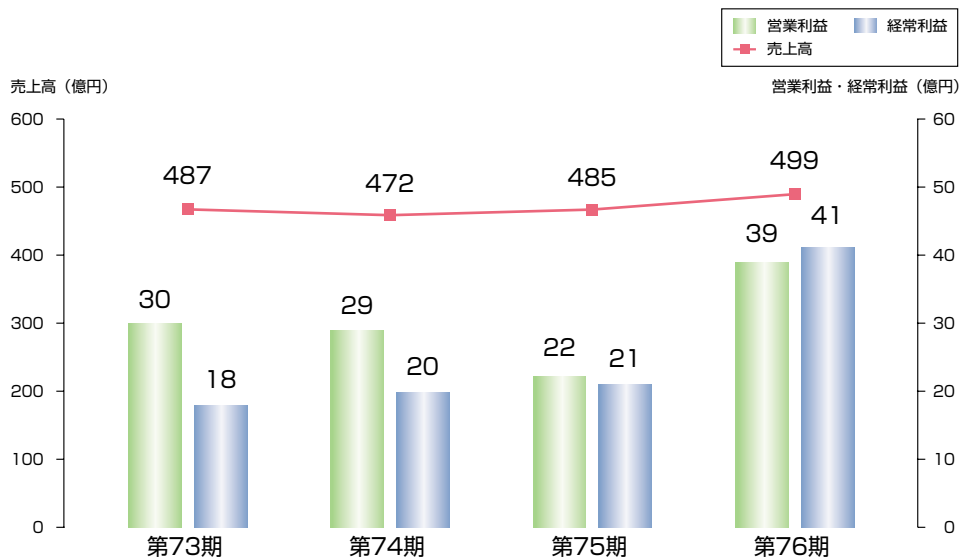
		科 目		金 額		
		百万円	百万円			
経常 損益 の 部	営業 損益 の 部	営業 収 益	49,907			
		営業 費 用	24,240	21,739	45,979	
	営業 利 益			3,927		
	営業 外 損益 の 部	営業 外 収 益	62	171	326	685
		営業 外 費 用	931	27	128	
	経常 利 益				4,085	
特別 損益 の 部	特別 利 益	固定 資 産 売 却 益	18			
		投資 有 価 証 券 売 却 益	12		30	
	特別 損 失	投資 有 価 証 券 評 価 損	10,488			
		投資 有 価 証 券 売 却 損	877			
		固定 資 産 売 却 及 び 除 却 損	52			
	特 別 損 失 の 合 計	49		11,469		
	税金 等 調 整 前 当 期 純 損 失				7,352	
	法人 税、 住 民 税 及 び 事 業 税				856	
	法人 税 等 調 整 額				△3,993	
	当 期 純 損 失				96	
					4,312	

連結キャッシュ・フロー (平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)

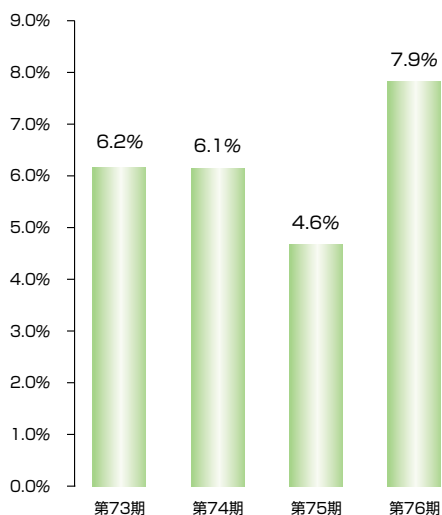
科 目	金 額
	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,066
投資活動によるキャッシュ・フロー	255
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,889
現金及び現金同等物に係る換算差額	22
現金及び現金同等物の増減額	1,455
現金及び現金同等物の期首残高	4,758
現金及び現金同等物の期末残高	6,213

連結決算概要

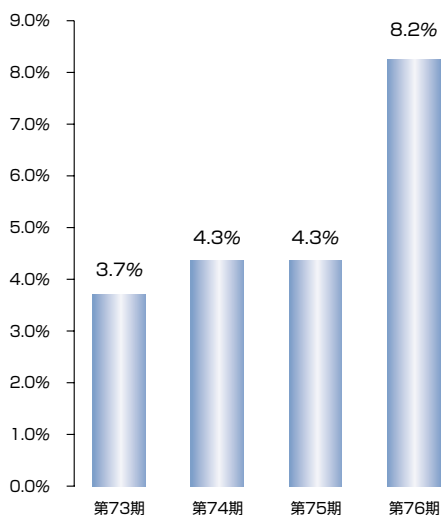
●売上高・営業利益・経常利益



●売上高営業利益率



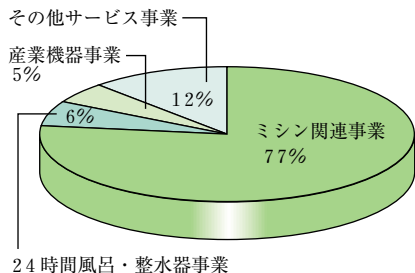
●売上高経常利益率



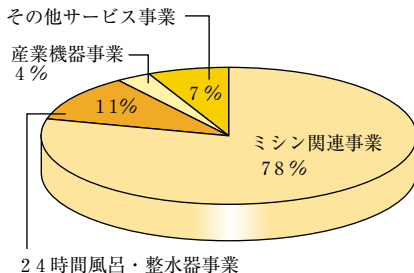
連結セグメント情報

● 事業の種類別セグメント

売上高

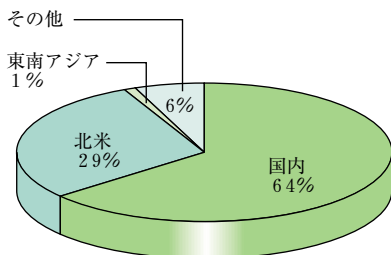


営業利益

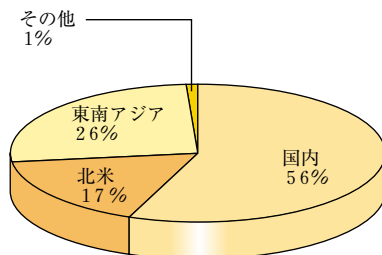


● 所在地別セグメント

売上高



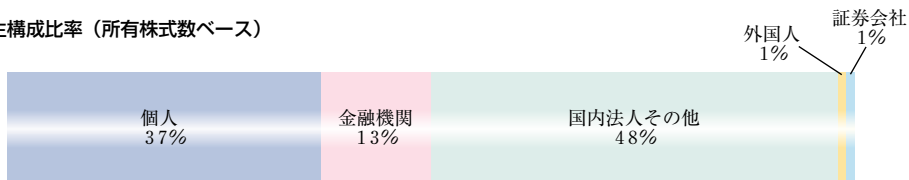
営業利益



株式の状況

発行する株式の総数	360,000,000株
発行済株式総数	152,460,000株
当期末株主数	12,960名

● 株主構成比率（所有株式数ベース）



製品のごあんない



我が家の
手作り物語
始まる



もっとやさしく
もっと楽しく



大型カラー画面により使いやすさも
グーンとアップ
しました



スーパーセシオ
SEICIO

オプションのメモリーカードで
ソーイングがますます
楽しくなります



©CLS/S. MURABAYASHI

24時間風呂

屋内設置型 湯名人スーパーZⅡ

浴槽のお湯を清潔に保つために、常に循環させて浄化除菌しています。お湯に溶け出したマイクロ単位の汚れから、気になる細菌まで、長年の研究で開発した独自のシステムで除去します。



1

連続ダブル制菌でセーフティ

オゾンと紫外線、ダブルパワーで細菌防止

24時間連続して照射する紫外線とオゾン（本体内部処理）、ダブルパワーの制菌管が細菌の繁殖防止に効果を発揮します。

2

自動熱洗浄でセーフティ

70℃の熱水で本体の中を自動洗浄

週に一度、最高70℃のお湯で40～60分間、自動的に本体内を洗浄。熱に弱い細菌とさらにそのすみかまで除去します。

3

抗菌ろ過材でセーフティ

抗菌処理したろ過材で汚れを除去

抗菌処理したろ過材を使用。高い除菌効果を保ちながら、お湯の中の目に見えない汚れまでろ過します。

業務用屋外設置型 バスエース

業務用クリーンバスシステム バス・エース

BATH ACE



ジャノメのバスエースは、独自の複合除菌システムによるパワフル除菌で、清潔な浴水を実現します。

屋内操作パネル



- 操作簡単設計** ワンタッチ方式です。
- 全自動設計** 「週間プログラム」により、曜日・時間ごとの保温・熱洗浄・塩素注入等を制御します。
- 親切設計** 浴水交換・管路洗浄時期をランプ表示等でお知らせします。
- 安心設計** キーロック機能で、管理者以外の誤操作を防止します。

産業機器

JRシリーズ卓上ロボット

省スペース



JR2200mini

低価格



JR2300

高剛性



JR2400

ジャノメの産業用ロボットシリーズは
低価格・正確・スピーディを約束します

スカラロボット

ローコストな製造ラインのロボット化の実現を可能に

自己診断機能内蔵、PC接続可能

省エネ
設計

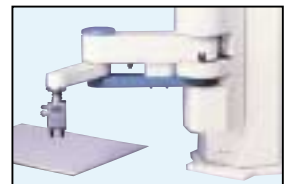


低価格

コンパクト



ネジ締め作業



ピック&プレース作業

豊富なインターフェイス

トピックス

● 米シアーズ・ローバック社よりP. I. P. 賞15年連続受賞



当社は、アメリカ最大手の小売業者シアーズ・ローバック社より、優秀な取引先に贈られるP. I. P. (Partners In Progress) 賞を15年連続して受賞いたしました。

P. I. P. 賞は、1万社あまりの取引先の中から、1%以下の限られた優良企業のみ与えられる栄誉あるものです。

その選定方法は、開発力・品質・価格・納期・技術サービス等が総合的に評価され、決定されるものです。

当社は、このP. I. P. 賞を、バイヤー部門では15年連続して受賞するとともに、サービス部門でも4年連続して受賞いたしました。

● 山梨工場（現ジャノメダイカスト株式会社）がISO9002認証を取得

当社山梨工場において、平成13年6月22日付でISO9002認証を取得いたしました。

当社の厳しい品質管理および品質保証は、このISO9002の厳しい規格に基づいたものです。

今回の認証取得により、東京工場・台湾・タイを合わせた四工場において、ISO9002認証を取得いたしました。

● 国際アパレルマシンショー（JIAM）家庭用ミシンコーナーに出展

平成14年5月15日から18日にかけて、大阪市にある「インテックス大阪」で開催された国際アパレルマシンショーにおいて、当社は家庭用ミシンコーナーに出展いたしました。

トップ機種「スーパーセシオ」をはじめ、国内・海外向け家庭用ミシンや作品を展示し、インストラクターによる機能の説明や刺しゅうの実演等を行ない、国内はもちろん、海外からも、たくさんのお客様が来場されました。



株主メモ

決 算 期	毎年3月31日
定 時 株 主 総 会	6月下旬
基 準 日	3月31日
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063)
(電話照会先)	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	電話 (03) 3323-7111 (代表)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
公 告 掲 載 新 聞	東京都において発行する日本経済新聞

----- お知らせ -----

- ◎住所変更、单元未満株式買取請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル 0120-87-2031 で24時間受付しております。
- ◎当社の会計監査人は、平成13年7月1日付で、法人名称を「監査法人太田昭和センチュリー」より「新日本監査法人」に変更しております。

ジャノメミシン

蛇の目ミシン工業株式会社

東京都中央区京橋三丁目1番1号 TEL 03 (3277) 2071
ホームページアドレス <http://www.janome.co.jp>